

道州制の可能性と限界

熊本県や九州でも話題となっている「道州制」について考えるフォーラムです。改革の議論や課題について幅広い視点から語り合います。

2013
2/23
SAT

熊本大学政策フォーラム

時間 13:00～16:00 (受付12:30～)

場所 熊本市現代美術館 -CAMK- アートロフト

1部 キーノート・プレゼンテーション
「道州制議論の行方」

講演者 | 田村 秀 氏 (新潟大学教授)

2部 ラウンドテーブル

幸山政史 氏 (熊本市長)
田村 秀 氏 (新潟大学教授)
内田安弘 氏 (熊本県企画振興部政策審議監)

コーディネーター | 上野真也 (熊本大学教授、学長特別補佐)

入場無料

先着90名様
(予約不要)

一般公開となっておりますので
ぜひご来場ください!

熊本大学政策フォーラム



田村 秀 (たむらしげる)

新潟大学大学院実務法学研究科教授
法学部副学部長

昭和37年北海道苫小牧市生まれ。東京大学工学部卒、博士(学術)。自治省、国土庁、岐阜県、香川県、三重県などを経て現職。専門は行政学、地方自治。内閣府、全国知事会、新潟市など政府や自治体の委員を歴任。また全国のB級グルメを集めた「B-1グランプリ」の特別審査員や、地元テレビ局情報番組のコメンテーターを務める。著書に「データの罠(わな) 世論はこうしてつくられる」「自治体格差が地方を減ぼす」「B級グルメが地方を救う」(いずれも集英社新書)、「暴走する地方自治」(ちくま新書)など多数。



幸山政史 (こうやませいし)

熊本市長

昭和40年熊本市生まれ。九州大学経済学部卒。日本債券信用銀行(現あおぞら銀行)、熊本県議会議員を経て、平成14年37歳で熊本市長初当選、現在3期目。平成24年4月政令指定都市を誕生させた。熊本市が未来に向かって飛躍し続ける基盤を確立するため、3つ(市役所・交通体系・中心市街地)の「くまもと再デザイン」に取り組みとともに、市民が誇れる「もっと暮らしやすさを実感できるまち」、観光・企業立地など様々な意味で、全国、そして東アジアから「選ばれる都市くまもと」の実現をめざす。



内田安弘 (うちだやすひろ)

熊本県企画振興部政策審議監

昭和29年阿蘇郡西原村生まれ。熊本商科大学経済学部卒。昭和52年入庁、企画課長、首席商工審議員(商工政策課長)、環境生活部政策審議監などを歴任して、現職。地域づくりや景観、環境問題、環境教育等がライフワークで、市民活動などにも参加。企画課長時代には、九州地域戦略会議の「道州制の九州モデル」の策定等に参画。



《コーディネーター》

上野真也 (うえのしんや)

熊本大学教授、学長特別補佐
(政策創造研究教育センター、大学院
社会文化科学研究科)

昭和30年熊本市生まれ、熊本大学法文学部、九州大学大学院法学研究科。博士。(株)太陽神戸銀行、熊本県庁を経て、平成13年熊本大学助教授に。平成18年から現職。地方自治論、ソーシャル・キャピタル、社会ネットワークなどを研究。著書に『持続可能な地域社会の形成』(成文堂)。山中進・上野真也編『山間地域の崩壊と存続』(九州大学出版会)。『地方分権と道州制』(成文堂)など。

道州制の 可能性と 限界

入場無料

先着90名様

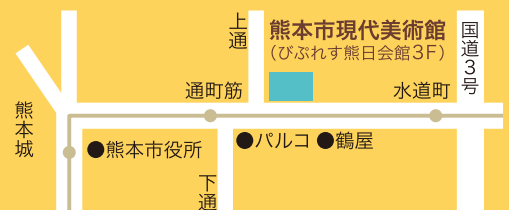
(予約不要)

2013年

2月23日(土)

時間 13:00～16:00 (受付12:30～)

場所 熊本市現代美術館 -CAMK-
アートロフト



お問合せ先

熊本大学 政策創造研究教育センター

TEL 096-342-2044

FAX 096-342-2042

E-mail: seisoken@gpo.kumamoto-u.ac.jp